

● Photo sketch ●



7/1 「黄色いハンカチ」に込められた思い

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人の更生について考える「社会を明るくする運動」。土岐保護区保護司会がこの全国運動に合わせて、土岐更生保護サポートセンター屋上に「幸福の黄色いハンカチ」を掲げました。出所した男性を温かく迎える同名の映画を参考にしたもので、保護司会の出口会長は「罪を犯した人は反省と償いを経てやがて社会へ戻ってきます。『おかえり』の精神で、地域にあたたかく迎えてほしい」と話してくれました。



7/9 命を守る大切なシートベルト

岐阜県と日本自動車連盟(JAF)岐阜支部の共催による「交通安全教室」が肥田小学校で開催され、5年生児童67人が参加しました。児童らは、衝突実験などの映像を見ながらシートベルトの必要性について説明を受けた後、効果体験車に乗車し、時速5kmでの衝突を体験しました。最後に、「どの席に座ってもシートベルトを着用する人」と講師が問うと、全員が挙手をし、身をもってその大切さを学んだようでした。



7/11 「地域の教育力」を生かす土曜授業

土曜日に授業を行う「土曜授業」が駄知小学校で行われました。土曜授業は、地域の方の協力を得て子どもたちの教育環境を豊かにすることを目的として、今年から市内の小・中学校で取り入れられています(年3回程度)。トヨタ自動車に勤める駄知小出身の先輩を講師に迎えた授業では、4年生58人が機械の仕組みや自動車の部品がどのように作られているかをじっくりと学びました。



7/15 手作りのプランターでおもてなし

10月に揖斐川町で開催される全国育樹祭の参加者をおもてなしするため、濃南小学校6年生22人が会場内の花飾りに使用するプランターを作りました。同校は、緑・森林を守り育てる活動を行う「みどりの少年団」を結成しており、その1回目の活動でもありました。児童らは慣れないぎ打ちに苦戦していましたが、鶴里生産森林組合の指導を受けながら、心を込めて丁寧に作りあげました。

6/27 みんなの大切なお米を守ってね

自分たちが植えたもち米をカラスなどから守るため、小学2～5年生の14人が泉公民館でかかし作りに挑戦しました。十字に組んだ竹にわらやペットボトルなどを固定し、子どもたちが持ち寄った服などを着せ、最後に顔を描いてオリジナルのかかしを完成させました。

今回作ったかかしは、稲穂が出る8月頃に公民館近くの田んぼに立てる予定です。



このかかし作りは、田植えからもちつきまで年間を通して農作業を行う公民館講座の一環として行われたもので、今年初めて開催されました。



←5月に行われた田植えの様子



7/15 いつも安全運転でね

鶴里町の国道沿いで、交通安全の街頭啓発運動が行われ、のうなん保育園園児35人と、警察署員、交通安全協会員ら約35人が参加しました。警察官の制服姿をした園児らは、通り掛かったドライバーに、啓発グッズを手渡ししながら安全運転を呼び掛けました。

また、街頭啓発運動の前には警察署員による交通安全教室が開かれ、園児らは、信号を確認してから横断歩道を渡ることなど、体験を通じて交通安全を学びました。

